**職務経歴書**

日付：2023/5/28

住所：品川区平塚2-4-4ボナール戸越907

氏名：出葉　義治

**職務経歴**

1993年04月～1998年09月

総合研究所所属 　パイオニア（株）　総合研究所にてマルチメディアフォーマットの研究開発に従事

1998年10月～2016年07月

情報通信研究所所属 　ソニー（株）　研究開発本部　国内外デジタル放送標準化（次項目の期間は併任して業務に従事）

2000年04月～2002年07月

本社直轄プロジェクト所属 　ソニー（株）　ソシオメディア研究室にて　情報コミュニティのためのコンテンツ形式の基礎開発に従事

2016年08月～2018年07月

国際戦略局所属 　総務省　国際戦略局　総務省直轄プロジェクトの企画立案・予算

2018年08月～

コーポレート戦略部門所属 　ソニー（株）　本社戦略部門　ゲーム映像技術社内外アライアンス

2020年04月～ LG Japan Lab.（株）　日本研究所にてTV製品の開発リーダーに従事

**職務概要**

| 期間 | 職務内容 | 担当業務 |
| --- | --- | --- |
| 1993年4月  ～  1998年9月 | マルチメディア符号化方式の研究開発 | ISO/IEC SC29 WG12(MHEG)の標準化活動  ・IPAが行ったMHEGテストケース策定におけるテストケース作成  ・Javaを用いたMHEGエンジンの設計  ・MacのためのMPEGデコーダボードの設計  　　（デバイスドライバー及びQucikTimeコンポーネント）  ・MacのOEM設計のためのMPEG2デコーダの開発  ・MPEGパート7（テスト）の副エディタ |
| 1998年10月  ～  2016年7月 | デジタル放送方式の標準化 | ワールドワイドのデジタル放送インタラクティブサービスの標準化策定、社内事業部へのコンサルティング  （国際規格ISO/IEC and ITU、欧州DVB、米国ATSC、ブラジルSBTVD、日本ARIB, Dpa, JEITA, IPTV Forum  ・衛星放送をつかった音楽ダウンロードマルチメディアサービス（MusicLink）のデータ方式の策定  ・衛星デジタル放送データ放送方式（B24::BML/B23:ARIB-J）の規格策定（ARIBタスクグループ主任、副主任を歴任）  ・ブルーレイディスクアソシエーションのBD-Jフォーマット策定及び性能評価方式の策定WGの主任  ・欧州HbbTVの規格化  ・IPTVフォーラムにおけるNTTが運用するIPTV（ひかりTV）に用いらているIPTV方式の規格策定  ・ブラジルのインタラクティブTVサービスGINGAの規格策定  ・国際規格ISO/IEC 13522-5,7（MHEG5, 7）の国内対応規格の策定  ・サーバー型放送の標準規格策定 |
| 2000年4月  ～  2002年7月 | 情報コミュニティのためのコンテンツ形式の基礎開発 | P2P型の新しいネットワークビジネス体系を形成するネットワーク利用者識別システムの試作と適用ビジネスモデルの構築及び関連特許出願 |
| 2016年8月  ～  2018年7月 | 総務省直轄研究開発の企画立案と予算獲得 | ・オープンソースな対話型AIエンジンの研究開発のための政策立案と予算確保  ・IoT共通基盤の実証実験の予算執行管理  ・NICTの研究開発のサポート |
| 2018年8月  ～  2020年3月 | HDRゲームの相互互換性改善のための技術アライアンス構築・運営 | ディスプレイメーカーとゲーム開発者のためのHDRゲーム制作コミュニティの管理 |
| 2020年4月  ～  現在 | TV製品の開発チームリーダー | ・20名程度のTV製品の開発チームのマネジメント  ・本社のR&D組織と協調し製品のソフトウェアを開発  ・放送局との渉外と新規技術開発 |

**論文等**

| 項目 | 内容 |
| --- | --- |
| 修士論文 | 一般化論理プログラミング言語UL/&alpha;のコンパイラ（1992情報処理学会） |
| 論文 | ディジタル放送におけるデータ放送の符号化方式BML（2002 画像電子学会） |
| 書籍 | ディジタル放送教科書（上）（2003　インプレス） |
| 論文 | 日本のデータ放送方式BML（2005 映像情報メディア学会） |
| 論文 | サーバー型放送のサービス, BML, メタデータ（2006 映像情報メディア学会） |
| 書籍 | コンテンス流通教科書（2006 インプレス） |
| 論文 | ブラジルのデジタル放送方式（2008　映像情報メディア学会） |
| 書籍 | 放送・通信のインタラクティブコンテンツ（2009　オーム社） |
| 論文 | ハイブリッドテレビの標準化動向～新しい放送通信連携サービスを実現するハイブリッドキャストについて～（2013 映像情報メディア学会） |
| 書籍 | プログラミングC#　第7版（2013 オライリー）（翻訳） |
| 解説記事 | ハイブリッドキャスト技術仕様（2013 放送技術） |
| 解説記事 | 国際動向 (特集 放送と通信の連携)（2014 映像情報メディア学会） |
| 書籍 | HTML5 Hacks（2016 オライリー）（翻訳） |
| 特許 | 49件の公開登録特許（<http://www.patentsencyclopedia.com/inventor/yoshiharu-dewa-tokyo-jp-1/>） |

**表彰**

| 日本標準化賞 | 日本ワンセグ放送標準化（2006） |
| --- | --- |
| 標準化貢献賞 | ARIBにおける日本の次世代デジタル衛星放送標準化（2008） |
| 地域標準化貢献賞 | 日本のIPTV標準化活動（2009） |
| 地域標準化貢献賞 | 欧州HbbTV標準化活動（2010） |
| 標準化貢献賞 | 米国放送規格ATSC 2.0の標準化(2013) |
| 標準化大賞 | 日本ハイブリッドキャスト放送規格標準化(2014) |
| 標準化貢献賞 | ATSC 3.0 Upper Layer 放送規格標準化(2016) |
| 標準化貢献賞 | A-PAB及びJEITAにおける4K放送推進と4K8K放送運用規定策定(2016) |
| 標準化特別賞 | HDR Gaming Interest Groupの立ち上げとHDRゲーム制作ガイドラインの発表(2019) |

**自己PR**

　インタラクティブメディア技術の研究開発エンジニアとして長年経験を積むと共に多くの先端技術トレンドに対する発明を行ってきました。衛星放送を用いた音楽配信サービスに始まり、日本、欧州、米国、ブラジルの放送及びネットのインタラクティブサービスを標準規格化するとともに規格必須特許を多く登録しています。

　データ放送やインターネットを用いたコンシューマ機器を用いたアプリケーション配信が強みの技術となります。

映像情報メディア学会の理事も3期務め業界への幅広いネットワークを持ちます。TV製品の開発チームを率いて開発を行い、現場でのプロジェクト管理などの経験も持ちます。